



源氏供養

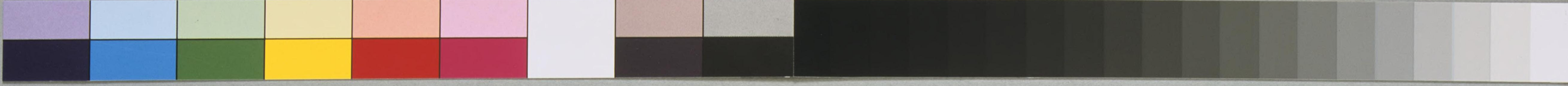
観世流謡曲 元和卯月本

21-001

21 源氏供養

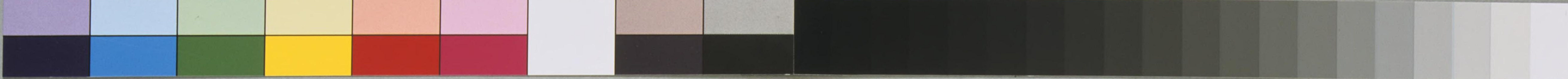
国立国会図書館





衣次弟もむらゝるゝ道下づく石山
 寺下まゝいしき 是下ハ五居院下玄
 法下尔下をて山下石山下の觀世下多下を信下
 常下子下赤下を下も下も下又下ま
 づ下も下と下思下作下 時下も下ぬ下む下花下乃下
 却下を下立下ゆ下て下く下 氣下も下つ下る下多下ぬ下の
 白下川下花下を下包下り下の下音下羽下乃下た下ま下を下





こゝろの事もなほさるる
 新石山女上よこも源氏六丁帖と書志
 りしまは法まきなり筆のとりし
 かしこいゆきを源氏よ終り
 信長をせらるるいふまじり
 りるくらのくはゆるくは山
 めく源し信長をのけり

ふるまきく開りありの物
 けしきあるる月影もあ
 子ほ乃海矣れりもま
 かのくははや春負かりら
 まの塩やねも浦の浪ち
 水乃まきりるれり
 乃法京よまま事なり
三十一日
三十一日
三十一日



あつた此よは乃月も心をよ石山寺
の鐘乃く念夢をもりうあせのま
ぎえういうれり炊乃克源氏乃跡
とらんく 下女 別らる程乃事わ
げをりあ詠よまいつをへま 下男 伊や
あせもくハ思りもようひんごそも
此世ハ夢乃甲音よせの舞の社

セシ 唯今まつくをばく 女 ちつこふ
あそそハ信をこいそ宵へまそそく
りうはまりんそそ 下女 本より具名も
螢乃色乃くまきうとまきの目色
紅井の廟をもち 下女 ちつこふよそ
よりと 下男 別らる胡蝶乃 下男 ちつこふ
上 夢乃ちちあふまじの社ぐらふ

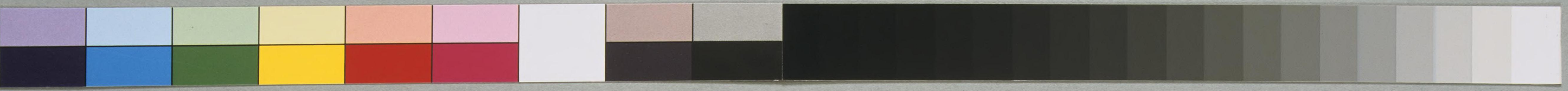
つすよもいれ 世に 花染衣乃いろ
かき 地 雲より後 り 父母 を 常
日 に ころも目乃ま る 像もあ
一生 の こと は だき つ けて百年を
しる る 檀花 一 日 に ち り あり し け は 子
つす あ り ぬ 室武部 の こと を 終て
石山寺 に 悲願 を 頼 こ とも を おく

此物 を 筆 に ま る 下 白 の 丸
終 に 借 ら ぬ を せ ら ぬ と ころ よ ち を 意
瓶 乃 雲 も 晴 る 下 女 の 衣 を 着
縁 に せ ら る て 甲 乃 可 願 を ね い
ぞ ら の ま き 物 よ 寫 し せ 月 乃 眠 を
あ ま 乃 南 守 や 支 派 乃 幽 冥 依 ホ
正 見 柳 桐 つ ぼ 乃 夕 露 き あり す

見ゆりよはむのちしよしつてあ
のよるよとの空、終よ是樹乃花
ちりあづつせえりひるしよこの世を
とちりてはぐりほの露乃命を觀し
美哉乃雲をひくも色つ止たに乃
皇よ心せいもみち乃賀のありあ
存もしうやだたましく佛意よ

あひかりくばりあはしそはま
をぬるし ^上 花ちる望よす
そも愛る難若乃とりあまぬれ
かきき道ともやむまきつうく生
死流浪乃まぬのうをそひそ田智
田乃あしの浦よふとつくり
つれまともるあまの宿あり





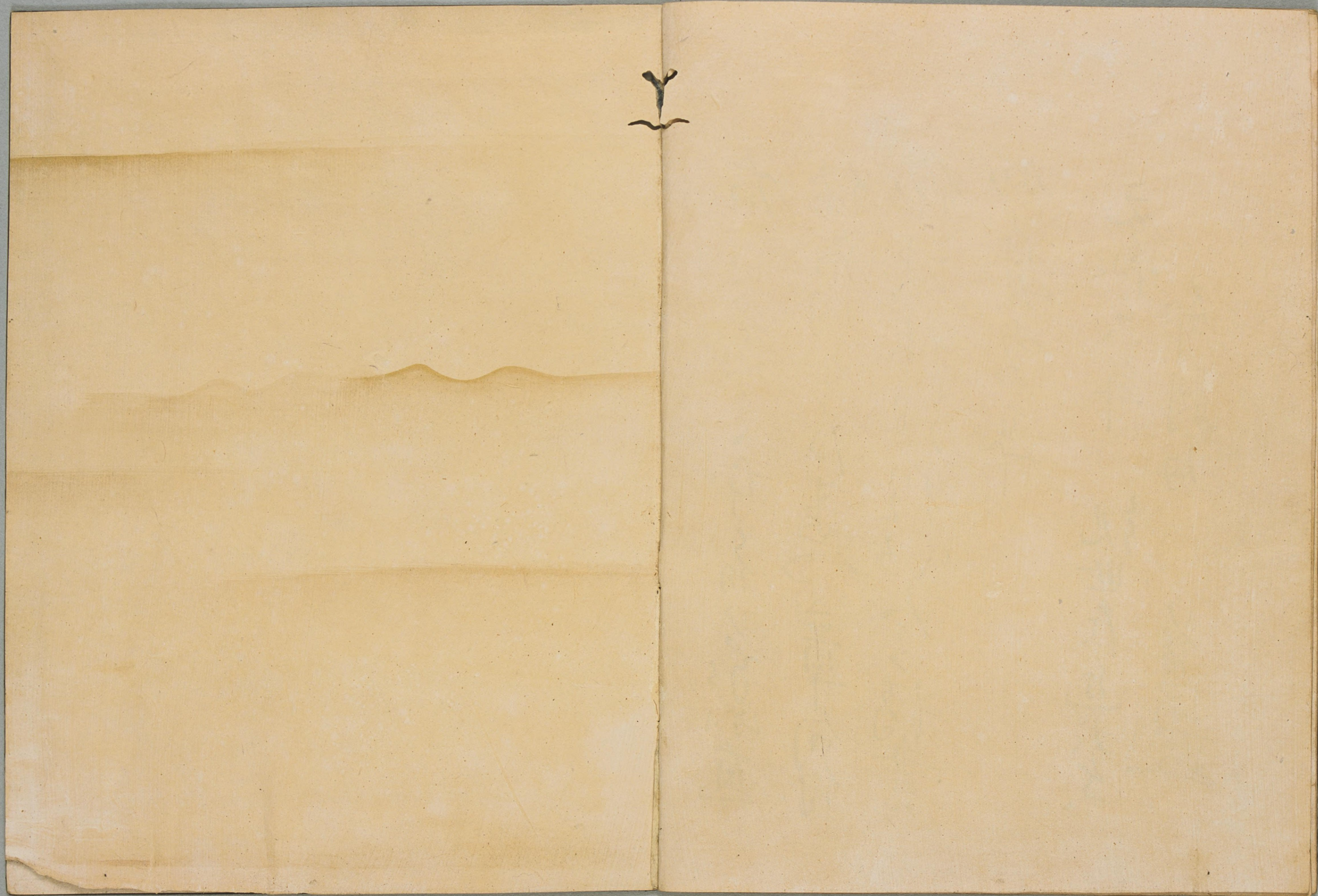
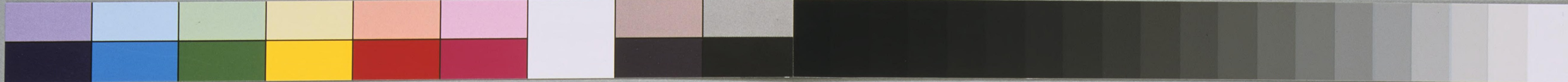
言程乃通をねくく一松乃吹
 てもも業障乃と雲の事
 ららよふ一秋の風きしてさぬ
 君乃友を海と品蓮皇よ心を
 かきてまことある^中七寶法散のま
 きこしらへるもとまを梅^中くし乃
 少ほ月よりつる物心さる乃う^中

しく露乃具玉の^中かき志^下
 檀乃支斬まれす^中別^上たは梅檀
 の陰よとり及名もたりさつ^日ら位
 を東屋乃うちよこせ^中たの^中そ^中ら
 かりと^中う^中き^中あ^中よ^中た^中あ^中へ^中と^中や^中是^中
 もかきりあ乃^中あ^中る^中く^中一^中等^中乃^中う^中き
 し^中と^中ら^中ち^中わ^中し^中ら^中身^中乃^中来^中近^中を^中祈^中ふ



包し高きや西の方ほ流す来れ言候
語とあり候て儀式部り候乃よを
下_下まき候人ともあはれまじらぬうちあ
てて日向も既に終りぬ_上矣面白や
まじくぬぬ候とぬりてあく身_上の夢
をも久すたもとぬ_上克保氏乃
伊保とふふ法乃力もそぞも

まき入蓮の花の縁ハたのちや
北_北まきああ_北六秋乃いりり_女外_下ま
歌もあ_白あ_白る_白ほり_下露_下もあ_下まの
かき_下つ_下ほ_下わ_下り_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下
う_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下
儀式部と_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下
あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下あ_下ら_下り_下



観世流謡曲 元和卯月本

21-013

21 源氏供養

国立国会図書館





観世流謡曲 元和卯月本

21-014

21 源氏供養

国立国会図書館

